



葡萄学園



R7. 10. 9 発行 文責 佐藤

- あ『明るい子』
- お『思いやる子』
- の『伸びゆく子』

青野小 2学期のあいさつ運動

小学校でのあいさつをさらに盛り上げていくために、5・6年生で活動を考えました。

○いろいろな国の言葉であいさつ ○あいさつ5・7・5(標語)

○あいさつリレー ○あいさつランキング ○あいさつBINGO 等々、アイデアは次々と溢れてきます。

これらの取組の様子を、次号以降の学校だよりで少しずつご紹介していきます。

子どもたちだけでなく、地域・保護者の皆様にも加わっていただきながら、みんなで青野小学校をあいさつで盛り上げていけたらと考えます。「毎月10日はあいさつの日」となっていますが、それ以外のご都合のよい時でも構いません。子どもたちの頑張りに皆様のあいさつを返していただくと助かります。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



青野っ子の夢応援プロジェクト

10月7日(火)に、「第2回ふるさと先生によるお話会」を開催しました。講師は、片山久美子さんと西田友美さんでした。

子どもたちが幼稚園時代からの長きに渡り読書ボランティアとして関わってくださっているお二人が、読み聞かせを通して想像力を働かせ相手のことを思いながら行動する大切さについてお話していただきました。「福祉」教育の入口として、手話体験をしたり、自分にできることは何かを考えたりする貴重な時間でした。地域に愛され伸び伸びと成長している青野っ子にもできることは何か、自分自身を見つめる良い機会となりました。地域の皆様にもご参加していただきましてありがとうございました。



ぶどうの収穫について

9月8日(月)に、1年生から4年生までがぶどうを収穫しました。子どもたちは、大きく生育したぶどうの房の重さとおいしさに驚きながら、楽しそうに次々と収穫しました。

今夏も猛暑で生育が早く甘みの強いぶどうの収穫となりましたが、休み時間返上でぶどうの世話を打ち込んでいた3・4年生の情熱があったからこそと感じています。井原市新農業経営者クラブ『礎会』の皆様、長期に渡り一つ一つの作業の仕方を丁寧に教えてくださり、子どもたちは自信をもって取り組むことができました。収穫までのたくさんの作業工程と農家の方のご努力を実感できたことで、より深い学びができたと考えます。ご自身の農園作業がお忙しい中にもかかわらず、子どもたちの学習に親身になって応えてくださり、本当にありがとうございました。



5・6年生 ふるさと井原魅力発見事業

9月10日(水)にふるさと井原魅力発見事業として、5・6年生が古代まほろば館と平櫛田中美術館に行きました。古代まほろば館では、市内から出土した貴重な銅鐸に感動したり、オリジナルの勾玉づくり体験を楽しんだりしました。平櫛田中美術館では、里帰りした代表作「鏡獅子」の迫力や力強い「転生」、愛らしい「幼児狗張り子」等の作品のすばらしさと田中翁の情熱に圧倒されていました。自分たちの住んでいる井原市の魅力を、また一つ覚えることができました。



3・4年生 社会科見学

9月16日(火)に、ハローズ井原店に3・4年生が社会科見学に行きました。店内だけでなくバックヤードの様子を見学したり、商品の流通の仕組みや働く人の工夫や努力について質問したりしました。補充商品の発注をAIで管理していたり、賞味期限が近い商品をフードバンクに提供し子ども食堂等で再活用されていたりすることに、子どもたちは驚いていました。お客様の笑顔のために相手の気持ちや立場を考えながら行動する大切さを学ぶことができました。



基礎基本の定着と「けてぶれ自主学习」

学校では子どもたちの学力をつけるために、各教科のテストに加え、市・県・全国学力テスト等の結果をもとに、個人や全体の傾向を分析しています。学年差や個人差はありますが、本年度の本校の課題は、主に2つあります。

- ①情報量の多い問題が苦手。 ②キーワードを押さえて端的に説明する問題が苦手。
- 学校全体でも、課題解消に向けて取組を進めています。まず、授業中ですが
- ①国語科・社会科・総合的な学習等の授業で、文章や資料を読み取り、必要な情報を選択したり、関連付けてまとめたりする活動を意識して行っています。
 - ②算数科などで理由や根拠をもとに自分の考えを説明する場を意図的に設定しています。
- また、説明の仕方のモデルを示し、自分の説明と比べることで、必要なキーワード等を確認することができるようにしています。

この他にも、補充問題をプリントや一人一台端末を使って日々取り組んでいます。漢字練習、計算練習、読解問題等、繰り返し個に応じた問題に取り組むことで、基礎基本の定着を図っていきます。

さらに、「青野小自主学习見せ合い広場(互いのノートを見せ合う場)」を定期的に設けることで、子どもたち自身が、自分に合ったより良いまとめ方について知ることができるようにしています。ご家庭でも、「けてぶれ自主学习」への取組の様子をご覧になって、自分の課題に向けて頑張る姿を是非褒めてあげてください。

※「けてぶれ」・・・「計画→テスト→分析→練習」を1サイクルとして進めていき、自分の学習の力を高めていくやり方の略。

